# TOSHIBA 東芝電球ブラケット取扱説明書 保管用

**防雨形**

●このたびは東芝製品をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
●正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
●お客さまはお読みになったあとも必ず保管してください。

**お客様へ** この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
一般の方の工事は法律で禁じられております。

**工事店様へ** 工事が終了しましたら、この取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

## Ｈｉーマルチセンサー付照明器具

1．人感センサーが人の動きをキャッチして自動的に点灯する機能を持っています。
2．照度センサーを内蔵していますので、周囲が明るい時は点灯しないように設定できます。
3．暗くなってからの点灯方法が選べます。
・消灯で待機。人が近づくと全光点灯します。
・調光点灯で待機。人が近づくと全光点灯します。
・調光点灯で６時間待機。６時間後は消灯で待機。人が近づくと全光点灯します。
4．人感センサーを切って、照度センサーとしても使用できます。
5．壁スイッチの操作で連続点灯させることができます。緑色の表示灯が点灯します。

## 事前にご確認ください

（2ページの「■器具を取り付ける前に」をご確認ください）
●必ず壁スイッチのあるところに取り付けてください。
●１つの壁スイッチには１台でご使用ください。
（１つの壁スイッチで２台以上の器具を取り付けると、同時に連続点灯に切り替わらない場合があります。）
●調光器のついている回路ではご使用になれません。
●表示灯付スイッチと組み合わせる場合は弊社製品をご使用ください。（弊社商品名：オフピカスイッチ）
他社製表示灯スイッチとの組み合わせはできません。誤動作の原因となります。

## ■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全にお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

### ⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

●器具の取り付けは、取扱説明書に従い確実に行ってください。
取り付けに不備がありますと、落下・感電・火災等の原因となります。 取り付け

●必ずアースを取り付けてください。
アースが不完全な場合は、感電の原因となります。
(アースは法によりＤ種接地工事が必要です。) アース工事

●ランプに直接水をかけたり、器具のすきまなどに針金などを差し込まないでください。
ランプの破損によるけがや感電・火災の原因となります。

●この器具は、壁面の丈夫なところに取り付けてください。
薄い壁面・弱い壁面等に取り付けますと、ねじ止めが弱く落下の原因となります。 取り付け

●照明器具及びセンサー部分を分解や改造したり、部品を変更しないでください。
落下・感電・火災の原因となります。 改造

●紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置いたりして、使用しないでください。
火災の原因となります。

可燃物

### ⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

●交流１００Ｖ以外の電圧で使用しないでください。
過電圧を加えるとランプ・器具の寿命が短くなったり、過熱による火災の原因となります。 電源電圧

●塩害地や湿気の多い場所では使用しないでください。
部品の腐食や結露の原因となります。
●振動の激しい場所や、器具に衝撃の加わる場所では使用しないでください。器具破損の原因となります。
●風の強い場所には取り付けないでください。
器具の落下やセンサーの誤動作の原因となります。 防水

●器具取付面に凹凸（タイル貼りなど）がある場合には、必ず木台を使用するか取付面を平面にし電源穴を内側よりコーキングして器具を取り付けてください。

防水

●この器具は５～３５℃の温度範囲で使用するように設計してあります。

温度

●調光器（当社商品名コントルクスなど）による調光使用はできません。調光器が取り付けられている配線でこの器具をご使用になりますと器具やランプが短寿命となります。

●点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具が高温になっておりますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。

接触禁止

●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。
感電の原因となります。 電源を切って

●ランプ交換の際は、必ず器具に表示されているランプの種類、ワット（Ｗ）数の適合ランプをご使用ください。
間違った種類、ワット（Ｗ）数のランプをご使用の場合は、過熱により器具が変形・変色したり火災の原因となります。

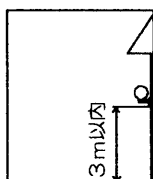
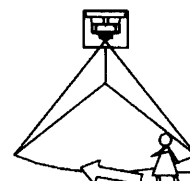
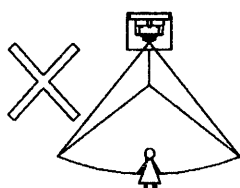
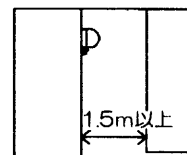
### ⚠ 安全に関するご注意

●照明器具には寿命があります。
●設置して８～１０年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度３０℃、１日１０時間点灯、年間３０００時間点灯。（ＪＩＳ Ｃ８１０５－１解説による。）
●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

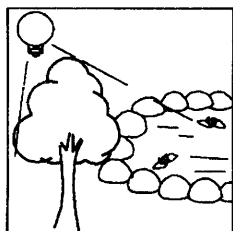
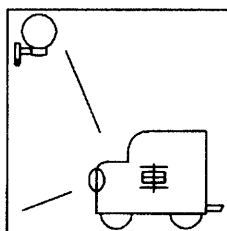
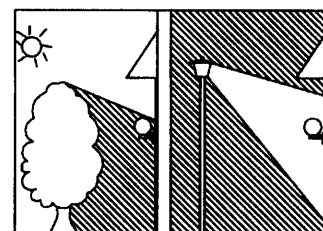
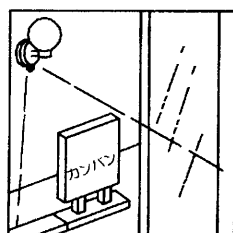
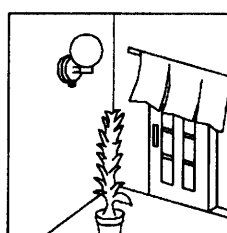
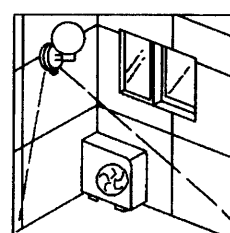
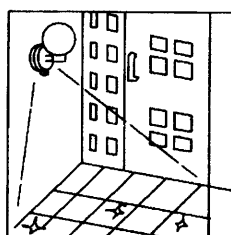
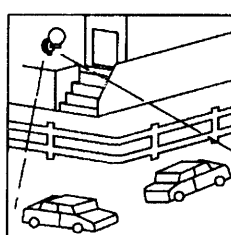
## ■器具を取り付ける前に

■必ず壁スイッチのあるところに取り付けてください。
■１つの壁スイッチには１台でご使用ください。（１つの壁スイッチで２台以上の器具を取り付けると、同時に連続点灯に切り替わらない場合があります。）
■調光器のついている回路ではご使用になれません。
■器具の性能を確保するため、設置場所は十分検討の上決定してください。

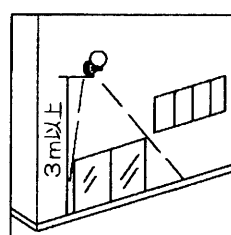
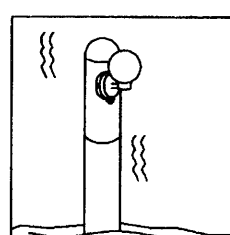
人感センサースイッチの検知エリアを考慮して器具を設置してください。

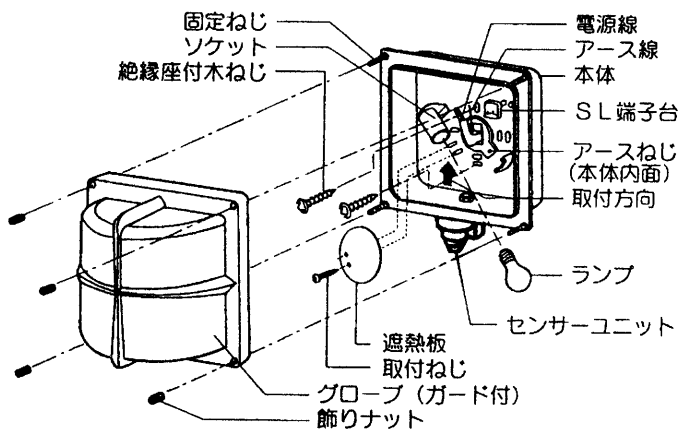
●高さ３m以内に設置してください。

●センサーの特性上、図の様に検知エリアを人が横切る位置に設置しますと、センサーの人体検知の信頼性がより向上します。

●センサー正面に向かって人が近づく様な位置にしますと、検知エリアに沿って人が接近した場合、器具のごく近くまで人が近づかないと検知しない場合があります。

●器具本体から出た光の反射によって起こる自己点滅を防ぐため、白壁から１．５m以上離して取り付けるかもしくは人感センサー検知部の方向を調整してください。

■雨や雪などをセンサーが検知してランプが点灯する場合がありますが、故障ではありません。

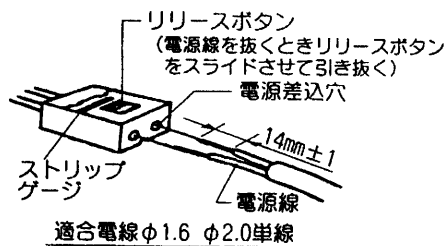
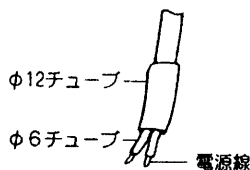
## ■次のような場所には取り付けないでください。（検知しなかったり、誤動作、故障の原因になります。）

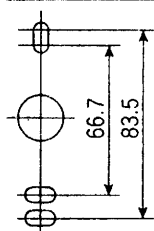
検知エリア内に木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動く場所へはお避けください。

車のヘッドライトが直接当たる場所への取り付けはお避けください。

昼間でも暗い場所や、夜間でも明るい場所。
・取付環境により照度レベルが変わり、誤動作等が考えられます。

前面に障害物のある場所。
（透明なガラスでも遮断されます。）

風などでよくゆれるのれんや植物などがある場所。

エアコンなどの排気口の近く。
排気口に対向する場所。

大理石など反射の強い床面のある場所。

検知エリア内に交通量の多い道路がある場所。

取付高さが３m以上になる場所。

振動の激しいポールなど、不安定な場所。

＜生産完了 2009年09月01日＞
IB38301CN (2／8)

## ■器具の取りつけかた

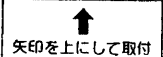
### 防雨形
### 壁取付専用

**取付距離をご確認ください**

天井面・壁面から200mm以上はなして取り付けてください。
下側はなにも無いようにしてください。センサーの検知エリアに影響します。

図－１　ＳＬ端子台

図－２　保護チューブの取付方

本体取付ピッチ

1. 器具を取り付ける前に、飾りナット（４個）をはずし、グローブ（ガード付）をはずしてください。ランプをはずし、取付ねじ（１本）をはずしてから、遮熱板をはずしてください。
2. 本体を取り付けてください。
   本体の中央電源穴に電源線とアース線を通してから、本体内面の取付方向に従って付属の絶縁座付木ねじ（２本）で本体を取付面にしっかりと取り付けてください。

| ⚠警　告 |
|---|
| 器具の取り付けには方向性があります。<br>本体表示に従い行ってください。<br>指定方向以外の取り付けを行うと、落下・感電・火災の原因となります。 |

| ⚠警　告 |
|---|
| 落下してけが・感電・火災のおそれあり<br>指定の方向以外の取付禁止 |
| <br>矢印を上にして取付 |

| ⚠注　意 |
|---|
| 取り付けの際は取付面の凹凸を調べて平滑な所に取り付けてください。また、電源穴を内側よりコーキングしてください。造営物によっては、ポリ台・木台を使用してください。取り付けが不十分ですと、湿気・水気の侵入による絶縁不良・感電の原因となります。 |

3. 電源線を結線してください。
   電源線に備え付けの保護チューブをかぶせてから（図－２）、ＳＬ端子台のストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、電源差込穴に奥まで差し込んでください。（図－１）

| ⚠警　告 | 感電・焼損・火災の原因となります。 |
|---|---|
| ●電源線がランプにあたらない様、壁側へ押し込んでください。<br>●電源線結線後、遮熱板を必ず取り付けてください。 | |

| ⚠警　告 | 感電・発熱・焼損・火災の原因となります。 |
|---|---|
| ●電源線皮むき寸法は14mm±1mmで、垂直にカットしてください。<br>●結線は電源線を確実に奥まで差し込んでください。<br>●電源線はまっすぐなφ1.6mm、2.0mm銅単線を使用してください。<br>●曲がった電源及び、より線は使用しないでください。<br>●電源線結線及び器具施工の際は電源線をねじったり回したりしないでください。<br>●必ず保護チューブを取り付けて施工してください。 | |

4. アース線をアースねじに接続してください。
5. 本体に遮熱板を取付ねじ（１本）で取り付けてください。
6. ランプをソケットに取り付けてください。
7. グローブ（ガード付）の穴を本体の固定ねじに合わせて、飾りナット（４個）でしっかりと締め込んでください。（ドライバーで対角線上に増し締めしてください。）
8. 必要に応じて検知エリアを調整してください。

――テストモード　6ページ

| ⚠警　告 |
|---|
| 器具の取り付けは確実に行ってください。<br>取り付けが不十分ですと落下・感電・火災等の原因となります。 |

| ⚠注　意 |
|---|
| Hi-マルチセンサー付器具には電球形蛍光灯を使用することはできません。器具・ランプの故障の原因となります。 |

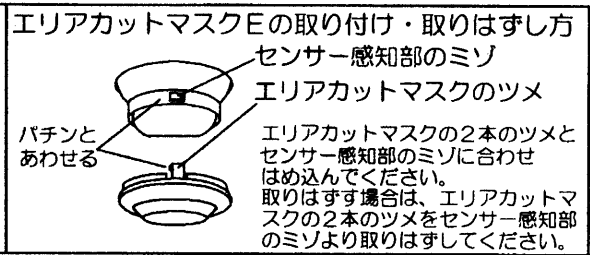
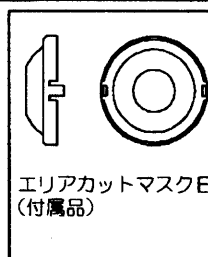
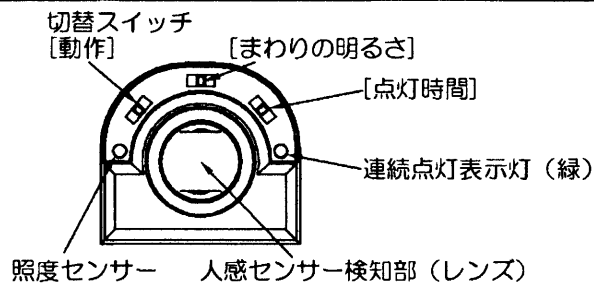
## ■センサーの名称

切替スイッチ［動作］
［まわりの明るさ］
［点灯時間］
連続点灯表示灯（緑）
照度センサー
人感センサー検知部（レンズ）

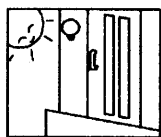
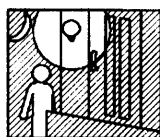
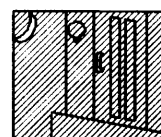
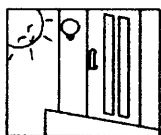
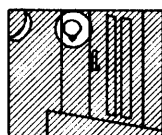
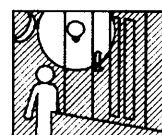
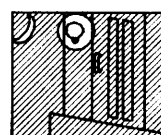
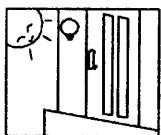
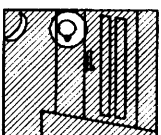
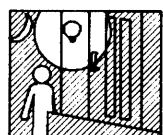
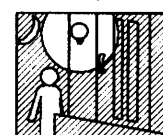
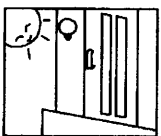
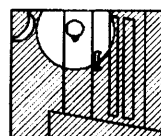
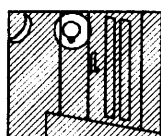
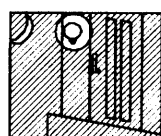
エリアカットマスクE（付属品）

**エリアカットマスクEの取り付け・取りはずし方**

センサー感知部のミゾ
エリアカットマスクのツメ
パチンとあわせる

エリアカットマスクの2本のツメとセンサー感知部のミゾに合わせてはめ込んでください。
取りはずす場合は、エリアカットマスクの2本のツメをセンサー感知部のミゾより取りはずしてください。

※エリアカットマスクE（付属品）はセンサーに取り付けて出荷しております。

## ■センサー機能について

●人感センサースイッチの切替スイッチを組み合わせることにより、いろいろなモードに設定できます。
●壁スイッチの操作で連続点灯（8時間）させることができます。

### ●照度センサーモード　人の検知に関係なく一晩中点灯させたい

日中は消灯
暗くなると
100%の明るさで点灯
または
暗くなると
20%の明るさで点灯
または
暗くなると20%の明るさで点灯
6時間後に消灯

### ●連続点灯　まわりに関係なく点灯させたい

壁スイッチを操作して連続点灯（8時間）させることができます。

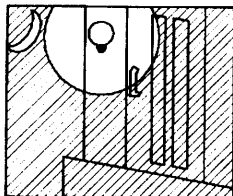
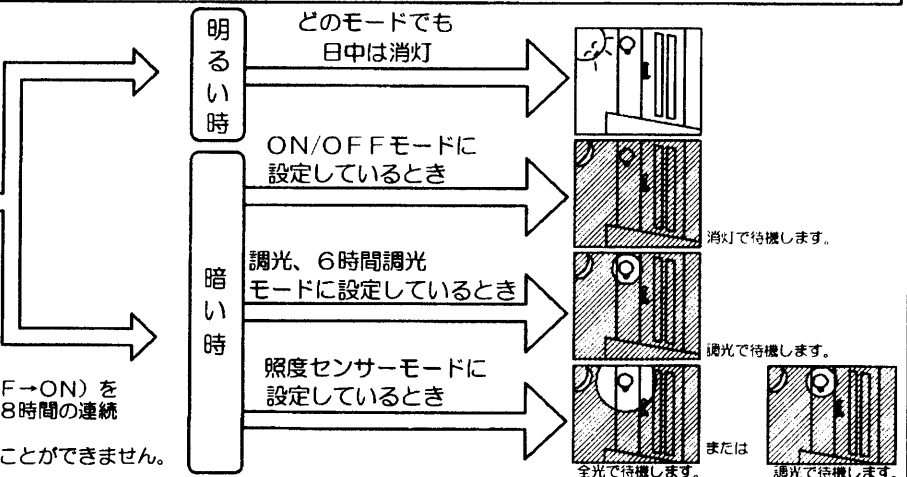
100%点灯

8時間後、設定されたモードにもどる

明るい時
どのモードでも
日中は消灯

暗い時
ON/OFFモードに
設定しているとき
消灯で待機します。

調光、6時間調光
モードに設定しているとき
調光で待機します。

照度センサーモードに
設定しているとき
全光で待機します。
または
調光で待機します。

※連続点灯モード中に壁スイッチ操作（約1秒以内のOFF→ON）を行った場合、タイマーがリセットされ、その時点から約8時間の連続点灯となります。
※壁スイッチを使用しない場合は、連続点灯に切り替えることができません。



<生産完了 2009年09月01日>
IB38301CN（4／8）

## ■設定方法

●壁スイッチをONすると約１分間全光点灯します。その後約５秒間消灯してからセンサーが動作します。
●使用中に切替スイッチを切り替えると、約５秒間消灯してから設定状態で動作します。
（連続点灯モードを除く）

### ●ON／OFFモード

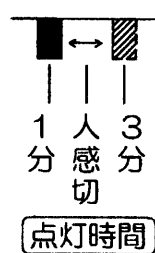
1．[動作]のスイッチを「ON/OFF」に設定してください。

2．[まわりの明るさ]のスイッチを「暗」または「明」に設定してください。

暗　切　明
まわりの明るさ

「暗」：約１５ルクス以下となると待機状態となります。
「明」：約４５ルクス以下となると待機状態となります。

3．[点灯時間]のスイッチを「１分」または「３分」に設定してください。

１分　人感切　３分
点灯時間

「１分」：約１分間点灯します。
「３分」：約３分間点灯します。
※検知エリアから人が離れたり静止した後の点灯時間です。

### ●調光モード

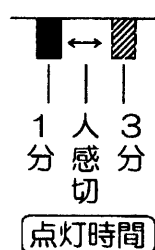
1．[動作]のスイッチを「調光」に設定してください。

2．[まわりの明るさ]のスイッチを「暗」または「明」に設定してください。

暗　切　明
まわりの明るさ

「暗」：約１５ルクス以下となると待機状態となります。
「明」：約４５ルクス以下となると待機状態となります。

3．[点灯時間]のスイッチを「１分」または「３分」に設定してください。

１分　人感切　３分
点灯時間

「１分」：約１分間点灯します。
「３分」：約３分間点灯します。
※検知エリアから人が離れたり静止した後の点灯時間です。

### ●６時間調光モード

1．[動作]のスイッチを「6h調光」に設定してください。

2．[まわりの明るさ]のスイッチを「暗」または「明」に設定してください。

暗　切　明
まわりの明るさ

「暗」：約１５ルクス以下となると待機状態となります。
「明」：約４５ルクス以下となると待機状態となります。

3．[点灯時間]のスイッチを「１分」または「３分」に設定してください。

点灯時間

「１分」：約１分間点灯します。
「３分」：約３分間点灯します。
※検知エリアから人が離れたり静止した後の点灯時間です。

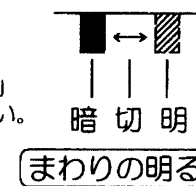
### ●照度センサーモード

1．[動作]のスイッチを設定してください。

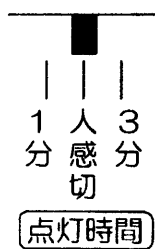
調光　ON/OFF　6h調光
動作

「ON/OFF」：１００%の明るさで点灯します。
「調光」：２０%の明るさでで点灯します。
「6h調光」：6時間、２０%の明るさで点灯します。6時間後消灯します。

2．[まわりの明るさ]のスイッチを「暗」または「明」に設定してください。

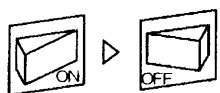
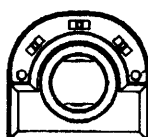
暗　切　明
まわりの明るさ

「暗」：約１５ルクス以下となると点灯します。
「明」：約４５ルクス以下となると点灯します。

3．[点灯時間]のスイッチを「人感切」に設定してください。

点灯時間

### ●連続点灯モード

●連続点灯設定方法

1．壁スイッチを一度ＯＦＦさせて

2．約１秒以内にONにする

約１秒以内にON

連続点灯モードになると、緑色の表示灯が点灯します。

●連続点灯設定解除方法

1．壁スイッチを一度ＯＦＦさせて

2．約２秒以上でONにする

約２秒以上でON

※人感センサースイッチの緑色の表示灯は消灯します。

壁スイッチをONした直後は、約1分間100%点灯します。
約５秒間消灯したあと、センサー待機状態となります。

## ■設置後検知エリアを決定する

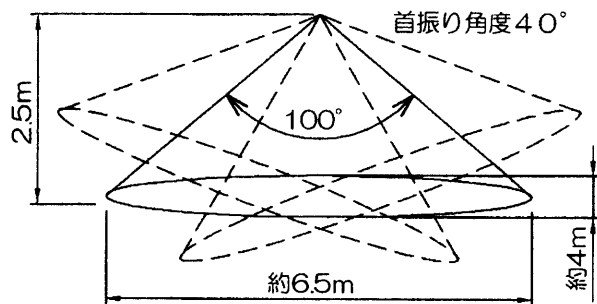
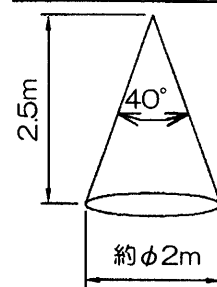
●検知エリアを決定するには「テストモード」で行うと便利です。
「テストモード」は周囲が明るいときでも、人を検知するたびに約５秒間全光点灯します。
器具の周囲を歩き、検知エリアの確認、調整を行ってください。
（「テストモード」への設定は、■設定方法　●テストモード　を確認してください。）

1．切替スイッチを「テストモード」に合わせる。

2．壁スイッチをONします。
※壁スイッチをONすると、約１分間全光点灯します。その後約５秒間消灯してからセンサーが動作します。

3．人感センサー検知部を動かして位置を決めてください。

### 検知エリア

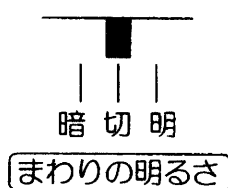
※検知エリアは、気象条件などにより差が生じる場合があります。
（特に寒冷地などで、手袋・コートなどの表面温度が低い時、動作しない場合があります。）

エリアカットマスクを取り付けることにより検知エリアをせまくすることができます。

## ■設定方法

### ●テストモード

周囲の明るさに関係なく人を検知すると５秒間点灯します
※出荷時は、テストモードに設定されています。

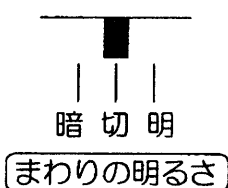
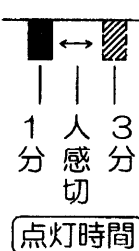
1．［動作］のスイッチを「ON/OFF」に設定してください。

2．［まわりの明るさ］のスイッチを「切」に設定してください。

3．［点灯時間］のスイッチを「人感切」に設定してください。

### ●人感センサーモード

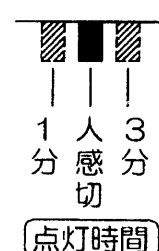
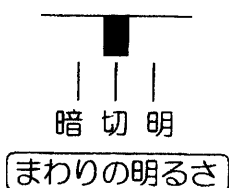
周囲の明るさに関係なく人を検知すると点灯します

1．［動作］のスイッチを「ON/OFF」に設定してください。

2．［まわりの明るさ］のスイッチを「切」に設定してください。

3．［点灯時間］のスイッチを「１分」または「３分」に設定してください。

「１分」：約１分間点灯します。
「３分」：約３分間点灯します。

※検知エリアから人が離れたり静止した後の点灯時間です。

### ※下記スイッチの組み合わせでは動作しません

●下記のような切替スイッチの組み合わせとすると、照明器具のランプが約0.5秒間隔で点滅します。設定を変更してください。

1．［まわりの明るさのスイッチを「切」に設定する

▷

調 ON 6h
光 / 調
OFF 光
動作

2．［動作］のスイッチを「調光」または「６ｈ調光」に設定した場合

3．［点灯時間］のスイッチはどの位置でも変わりません

# ■故障かな？と思ったら

■センサーの動作が故障かな？と思ったら下記を参照に点検を行ってください。

| 現象 | 考えられる原因 | 処置方法 |
| --- | --- | --- |
| 周囲が暗くなっても点灯しない。 | 電源接続が正しく行われていない。 | 電源を正しく接続してください。<br>（お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。） |
| | 壁スイッチ（電源）がＯＦＦになっている。 | 壁スイッチ（電源）をＯＮにしてください。 |
| | 壁スイッチが故障している。 | 壁スイッチを交換してください。(工事店等に依頼してください。） |
| | ランプが切れている。 | 壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。 |
| | [まわりの明るさ]スイッチが「切」になっている。 | [まわりの明るさ]スイッチを「暗」または「明」に設定してください。P5 |
| | センサーに周りの光が入っている。 | 光が入らないようにしてください。※4 |
| | センサーが故障している。 | センサーを交換してください。<br>（お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。） |
| | タイマー回路等に接続されている。 | タイマーが優先になっていると点灯しない場合があります。 |
| 人が近づいても点灯しない。 | 電源接続が正しく行われていない。 | 電源を正しく接続してください。<br>（お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。） |
| | 壁スイッチ（電源）がＯＦＦになっている。 | 壁スイッチ（電源）をＯＮにしてください。 |
| | 壁スイッチが故障している。 | 壁スイッチを交換してください。（工事店に依頼してください。） |
| | ランプが切れている。 | 壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。 |
| | 厚手の服を着ている。傘をさしている。 | 熱量を検知するためコート等を着込んでいたり、傘をさしていると体温が検知されず反応しない場合があります。※1 |
| | [点灯時間]スイッチが「人感切」になっている。 | スイッチの設定を変えてください。P5 |
| | センサーの表面に汚れが付着している。 | 水で固く絞った柔らかな布で軽くセンサー表面の汚れを落としてください。 |
| | 検知エリアに人が入っていない。 | 検知エリアの確認、調整を行ってください。P6 |
| | 照度検知に対し、周りが明るすぎる。 | 設定されたモードより暗くなると人感センサーが動作します。P5 |
| | タイマー回路等に接続されている。 | タイマーが優先になっていると点灯しない場合があります。 |
| 点灯したままで消灯しない。 | 連続点灯モードになっている。(緑の表示灯が点灯している) | センサーモードに戻してください。P5 |
| | 電源の瞬時停電でセンサーが連続点灯モードになっている。 | 電源の瞬時停電があると、連続点灯モードになる場合があります。P5 |
| | [点灯時間]スイッチが「人感切」になっている。 | 照度センサーモードになっています。スイッチの設定を変えてください。P5 |
| | 検知エリアに熱源がある。 | 検知エリアから熱源を取り除いてください。※1 |
| | 検知エリア内に、常にセンサーに反応するものがある。 | 検知エリアから反応するものを取り除いてください。※2 |
| | 激しい雨が降っている。 | センサーレンズ面についた水滴を検知して点灯する場合があります。※1 |
| | 検知エリアに木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動くと検知する場合がある。 | 検知エリアの調整をしてください。※1 |
| | 調光、6h調光モードになっている。 | [動作]スイッチを確認してください。P5<br>調光、６ｈ調光モードは約20%の明るさで点灯します。 |
| | センサーが故障している。 | センサーを交換してください。<br>（お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。） |
| 人が近づかなくても点灯する。 | 照度センサーモードで、周囲が暗くなった。 | 照度センサーモードは周囲が設定より暗くなると点灯します。 |
| | 検知エリア内にペットなどの動物がいる。 | ペットなどの動物にもセンサーは反応します。※1 |
| | 激しい雨が降っている。 | センサーレンズ面についた水滴を検知して点灯する場合があります。※1 |
| | 検知エリアに木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動くと検知する場合がある。 | 検知エリアの調整をしてください。※1 |
| | 検知エリア内を車などが通る。 | 車の通りが激しいところでは誤動作しますので、検知エリアの調整を行ってください。※1 |
| | 検知エリアに熱源がある。 | 検知エリアから熱源を取り除いてください。※1 |
| | 電源電圧の一時的で急激な変動があった。 | ※3 |
| | センサーが故障している。 | センサーを交換してください。<br>（お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。） |
| ランプが短寿命である。 | 白熱ランプのランプ不良の場合がある。 | 壁スイッチをＯＦＦにしてからランプを交換してください。 |
| | 電源電圧が高めである。 | 電圧が高いとランプ寿命が短くなります。白熱電球は１１０Ｖのランプを使用することをおすすめします。 |
| | 振動が多い場所に取り付けてある。 | 振動でランプが切れる場合があります。<br>振動がない場所に取り付けてください。 |
| | 他社製ランプで器具に適合していない。 | 当社指定ランプをご使用ください。 |
| | 電球形蛍光ランプを使用している。 | 電球形蛍光ランプは使用できません。器具に適合する白熱電球に交換してください。 |



<生産完了 2009年09月01日>

## ■故障かな？と思ったら（つづき）

| 現象 | 考えられる原因 | 処置方法 |
| --- | --- | --- |
| 検知エリアに人がいるのにランプが消える。 | ランプが切れた。 | 壁スイッチをOFFしてからランプを交換してください。 |
| | 検知エリア内で動かなくなった。 | 検知エリア内に人がいても、動きがない場合にはセンサーが検知しないためランプが消えます。<br>動くとセンサーが検知しランプが点灯します。 |
| | センサーの電源を都度、入り切りしている。 | 電源ON直後はセンサー内のマイコンが調整を行ってしまいますので、1度ランプが点灯し消灯して待機状態となります。※3 |
| | [点灯時間]スイッチが「人感切」になっている。 | 明るくなると消灯します。スイッチの設定を変えてください。P5 |
| 明るさに関係なく人に反応し点灯する。 | [まわりの明るさ]スイッチが「切」になっている。 | [まわりの明るさ]スイッチを「暗」または「明」に設定してください。P5 |
| 明るさに関係なく点き放しになる。 | 誤った壁スイッチ操作や瞬間的な停電などで連続点灯モードになっている。（緑色の表示灯が点灯している） | 壁スイッチを2秒以上OFFにしてから再びONしてください。<br>設定されているセンサーのモードに戻ります。P5 |
| ランプが点滅する。 | センサーの切替スイッチが設定されていない位置となっている。 | 切替スイッチの位置を変更してください。P5,6 |
| | ランプの光を照度センサーが検知してしまっている。 | 器具設置場所を変更してください。※4 |

※1　人感センサーは赤外線検知方式となっています。これは検知エリア内の熱変化（温度変化）を検知する方式です。このため、検知エリア内でのペット等の動物の動きにも反応します。また、木や池等の水面が風等で動いた場合や、雨等の水滴がセンサー表面に付着した場合や、水滴がセンサー前面を動いても反応する事があります。また冬季に厚手の服を着ている場合、体温が服の内部に閉じ込められて、服の表面温度が外気と差が無いためにセンサーが反応しないことがあります。

※2　このセンサーは、照度センサーと人感センサーが複合しています。点灯は照度センサーが優先され、消灯は人感センサーが優先されます。通常は周囲が暗くなり照度センサーが検知状態となってから人感センサーが動作します。人感センサーが検知して全光点灯状態のときは照度センサーは動作しません。この機能のため、周囲が暗い状態で人感センサーが動作し、検知し続けることにより点灯を維持すると、周囲が明るくなってもランプは点灯したままとなります。

※3　電源投入直後は約1分間ランプ点灯状態となりセンサー内のマイコン調整を行います。マイコン調整が終了するとセンサーは約5秒間消灯してからセンサー待機状態となります。

※4　反射が強い床面や壁面に取り付けると、ランプの光が反射して、照度センサーが明るくなったと検知して消灯し、消灯後暗くなったと検知して再び点灯するといった点滅状態となる場合があります。（点滅間隔は約5分）この場合、ランプ照射部分が可動できるものは床面や壁面を照らさない方向に可動させてください。その他の器具は、器具の設置位置を変更するか、床面や壁面が反射しないような措置が必要となります。

## ■お手入れのしかた

⚠ 注意　お手入れの際は必ず電源を切ってから行ってください。感電の原因となります。

■器具はぬるま湯またはうすめた中性洗剤を浸した布をよく絞ってから拭いてください。
このとき、ぬれた手でソケット部にふれないでください。（メッキ部分は乾いた布で拭いてください。）
■ランプは取りはずしてから、乾いた布で拭いてください。

| ⚠ 警告 | ■器具に直接水をかけて洗わないでください。破損・感電・火災等の原因となります。<br>■ランプは水洗いしないでください。ランプ破損によるけがや故障・感電の原因となります。 | ⚠ 注意 | ■ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。破損等の原因となります。<br>■金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。<br>傷つけたり腐食の原因となります。 |
| --- | --- | --- | --- |

## ■保証とアフターサービス

保証について
・保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器（インバータバラスト含む）については3年間です。
・ランプ、点灯管、蓄電池などの消耗品やセード、リモコン送信器は対象外です。
・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
・取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき
・保証期間中は、保証書を添えてお買い上げの販売店までご持参ください。
・保証期間を過ぎている時は、お買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させて

・アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関する相談は、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにお問い合わせください。
その際は、器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

保証の免責事項
1.保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
（1）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障および損傷
（2）お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障および損傷
（3）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
（4）車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障および損傷
（5）施工上の不備に起因する故障や不具合
（6）法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
（7）日本国内以外での使用による故障および損傷
2.離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

部品について
・修理のため取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
・修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
・補修用性能部品の保有期間
弊社は、この照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
（セード・グローブなどは含まれません。）

・ご転居されたり、贈答品などで販売店（工事店）に修理のご相談ができない場合
『東芝家電修理ご相談センター』　0120－1048－41
・新製品などの商品選び、お取扱い・お手入れ方法などのご相談
『東芝家電ご相談センター』　0120－1048－86
携帯電話、PHSからのご利用は（03）3426－1048（有料）

＊フリーダイヤルは、携帯電話、PHSなど一部の電話ではご利用になれません。


**東芝ライテック株式会社**
**東芝ホームライティング株式会社**
〒112－0002　東京都文京区小石川1－3－21（日本生命春日町第2ビル）


お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。



<生産完了 2009年09月01日>
IB38301CN（8／8）